

魅力

温泉・リゾート

まちめぐりと温泉療養の取り組みにより、ゆっくり過ごす情緒豊かな温泉街へ

外湯施設や、泉源などの観光スポットの整備、ウラ路地の回遊、まちなみの保存や地域の自主的な取り組みにより景観・魅力・滞在力を向上。また、多泉質の温泉を活用した「有馬温泉療養プログラム」の策定や泊食分離の取り組みなど、滞在型の観光地づくりを進めており、阪神淡路大震災(平成7年)により激減していた観光客数が、震災前の水準を取り戻している。



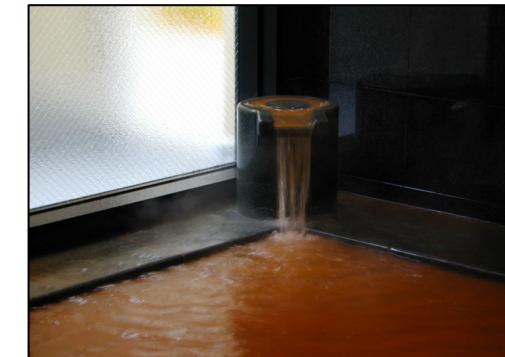
温泉情緒豊かな湯本坂

神戸市統計

入込客数

平成 6年(1994) 172万人
平成 7年(1995) 102万人 (阪神淡路大震災)

平成15年(2003) 170万人
平成16年(2004) 163万人
平成17年(2005) 159万人
平成18年(2006) 159万人



取組

案内・情報提供

景観保全・環境整備

そぞろ歩きできる環境づくり



秀吉の茶会にちなみ茶釜のデザインを採用して修景整備した「天神泉源」

安心して散策・回遊できる環境を整えることが、街の魅力向上に繋がるとして、泉源や歴史のある神社仏閣、温泉情緒のある中心街において、観光スポットの整備やまちなみの保存を進めている。

また、外湯施設の新設やりニューアルを進めるなど観光施設の充実を図っている。

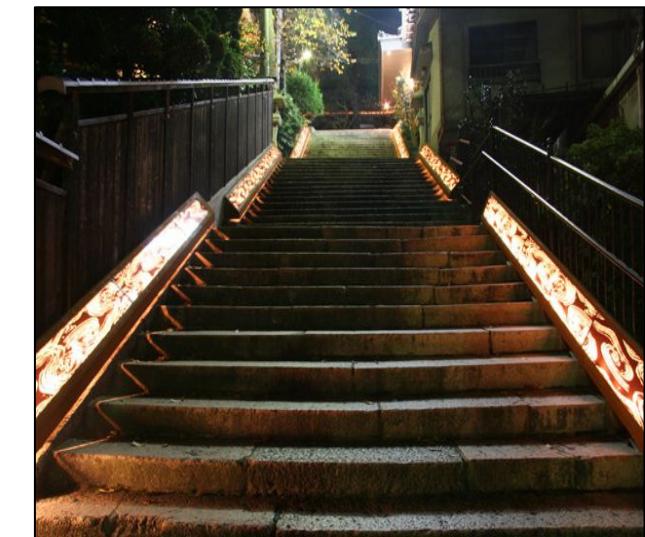


観光客で賑わう足湯

自主的な取り組みとウラ路地の回遊

地元のそば店店主が発起人となり、地元で採卵したホタルの卵を商店、旅館で幼虫に孵化させ、一万匹以上の幼虫を有馬川に放流。閑散期である6月にホタル鑑賞と夕食をセットにしたツアーも組まれるなど、集客に貢献。

また、まちなみから一歩入ると、通りの脇から湯気が出ているような温泉情緒あふれるウラ路地がたくさんあり、そこでは隠れ家的な店舗(食堂、バー等)の発見が楽しめる。また、夜は通年、寺町界隈にある鐘楼やお寺のライトアップを行っており、夜の有馬の魅力の創出にも取り組んでいる。



ライトアップされた、寺町界隈へ続く階段

温泉療養の定着

平成17年度に専門家を交え策定した「温泉療養プログラム」を活用し、運動・環境・食事・温泉療法の情報や、短期滞在の療養モデルプランを提案し、ホームページなどで発信している。

平成19年には、新たにウォーキングマップを作成し、エコツーリズムの推進に積極的に取り組んでいる六甲・まや地区との連携により、運動療法をはじめとする温泉療養地としての定着を図っている。



平成19年6月に整備された「癒しの森」

神戸市 国際文化観光局文化観光部 観光交流課
TEL:078-322-5339 URL:<http://feel-kobe.jp/>
有馬温泉観光総合案内所
TEL:078-904-0708 URL:<http://www.arima-onsen.com/>